＜問い合わせ状況　2023 年 8 月＞

院外処方せんに関連する問い合わせ

当院は院外処方せんを発行しています。処方内容などに疑義が生じた場合の窓口は薬剤師となっており、月に 5～10 件程度の問い合わせに対応しています。8 月の疑義照会は 11 件で、内容は以下の通りでした。

●用法用量確認（2 件）
●処方追加希望（2 件）
●日数変更（2 件）
●その他：流通規制によって入荷困難な薬剤について　等

薬に関する問い合わせ（患者・家族・施設より）

患者さんやご家族、施設の方からの質問にも対応しています。
8 月はお問い合わせが 1 件ありました。
●入院中のメトトレキサートカプセルの用法について

薬に関する問い合わせ（院内より）

他部署スタッフからの質問にもお答えしています。記録してある DI 室への問い合わせは、8 月は 13 件でした（病棟で直接質問されたことは未記載の可能性があります）。
◎がついたものについては回答を DI ニュース No.455 に記載しています。

◎フェントス®テープを初回から慢性疼痛で使用可能か？
◎エルネオパ®輸液へメコバラミン注を混注して良いか？
●モビコール®にとろみをつけて良いか → 推奨はしないが、溶解後にとろみをつけることは可能と考える
●テリボン®皮下注オートインジェクターを月木で使用していたが火曜に施行した。
　次の施行は木曜でも良いか？ → OK
●メロペネム注を透析患者に使用する方法は？
　→ 0.25～0.5g/回を 1 回/日。透析日は透析後に施行。
●ソル・コーテフ®注 100mg は静注可能か？ → 可。ただし、100mg を 1 分以上かけて投与。
　（静脈炎等予防のため）

◎ブドウ糖液を点滴している患者の空腹時血糖を測定したいがいつ採血すれば良いか？
◎バンコマイシン注の効果持続時間は？
●メロペネム注を半量投与する方法 → バイアルを溶解後、溶解量の半分を取って基剤へ混注
●コルセットでかぶれた際の塗布薬は何が良いか → オイラックス®、ヒルドイド® 等
●フェロミア®錠が服用できない。フェジン®注でどのくらいの量を入れると良いか
　→ 体重、ヘモグロビン値より総投与量を算出し、投与期間を考慮して回答。
◎未使用のインスリングラルギン注を室温保管していた。使用期限は？
●エベレンゾ®錠は粉砕可能か？ → 推奨しない。1000Lx で 24 時間で類縁物質増加。